

岐にわたっている。GEWEX ではシベリアでの観測が計画されており極域での研究は今後とも増えていく傾向にある。

北極域の観測では南極の観測と異なり必ず他の国と共同で仕事を進めていく必要がある。このための情報交換が必要である。地理的、設営的状况についての情報はもちろんのこと、今までその地域でどのような研究が行われてきたかについての情報の交換も必要である。多くの情報に基づきどのような研究を行うのが良いのか検討していく必要が有るだろう。また今後は観測だけでなくグローバルなデータ(衛星データを含む)を使った解析を行う研究者を増やしていく必要が有りそうである。今後更に意見交換の場を増やし、情報を集めていく必要性を感じた。

2. 極域研究連絡会の今後についての検討

会の活動が最近停滞気味である。会の幹事メンバーもあまり変化せず初期の意気込みが失われつつあるの

で、その打開策として今後の極域連絡会をどのような組織にしていくかについて、若手3人(浮田甚郎氏, 中村尚氏, 平沢尚彦氏)で考えてもらうこととした。南極では来年度から新5か年計画が始まり、また北極では沢山の観測が考えられている。地球科学関係の研究者の数が足りない中で極域の観測研究をする人を増加させるにはどうしたら良いか、極域で面白い研究は何か、などに付いて検討してもらうこととした。次回5月の気象学会の時に提案を出していただき、改めて議論することとした。

この会への沢山の方々の参加を期待しております。どなたでも結構です。ご意見御希望等ありましたら和田までご連絡ください。

連絡先 〒173 板橋区加賀1-9-10
国立極地研究所 和田誠
Tel : 03-3962-5580
Fax : 03-3962-5719
Email : wada@nipr.ac.jp



ヒマラヤ/チベットの環境変化ワークショップのおしらせ

「地球環境変化とヒマラヤ/チベット山塊の役割」

主催：IGBP/PAGES, 日本大学文理学部自然科学研究所, 日本第四紀学会

コンピーナー：小野有五・遠藤邦彦・岩田修二

期日：1996年7月8日(月)～9日(火)

会場：日本大学会館801講堂(千代田区九段南4-8-24)

JR 中央線・営団地下鉄有楽町線・都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅下車徒歩3分

最近の研究のレビュー

ヒマラヤ/チベット山塊

山塊の隆起/氷河変動/氷河涵養機構と水循環

ヒマラヤ/チベット山塊周辺地域の環境変動

インド洋/湖沼/タクラマカン沙漠/黄土高原

モンスーン変動のメカニズム

今後の研究課題の検討(仮説の提示とディスカッション)

問い合わせ先

〒192-03 八王子市南大沢1-1

東京都立大学理学部地理学教室 岩田修二

Tel 0426-77-2591

Fax 0426-77-2589



教官（助教授又は講師）の公募

下記の人事について公募します。

（岡山大学教育学部理科教育講座）

記

1. 職名・人員

助教授又は講師・1名

2. 専門分野

大気環境科学（実験系の方）

3. 担当授業科目

学部：気象学一般に関する専門科目及び基礎的実験（コンピュータ活用を含む）など

修士課程：専門講義と研究指導

（現在開講のもの：大気物理学特論・同実験）

4. 応募資格

(1)博士の学位を有する満40歳以下(採用予定時)の方

(2)教育学部の性格上、気象学分野において幅広い教育上の対応ができ、地域の小・中学校の教育現場に対する指導に関心のある方

5. 採用予定日

平成9年4月1日

6. 提出書類

- | | |
|-------------------|-----|
| (1)履歴書（市販用紙に写真貼付） | 1通 |
| (2)研究業績目録 | 1通 |
| (3)研究論文の別刷り（コピー可） | 各1通 |

(4)主要論文5編の要約（1編について1000字程度、専門外の人にもその論文の価値が分かるように書いたもの） 各1通

(5)研究の概要と将来の研究計画及び理科教育に対する抱負（1000字程度） 1通

(6)健康診断書（国公立病院、保健所又は大学の保健管理センターで作成したもの） 1通

7. 応募締切日

平成8年7月10日（水）

8. 応募書類送付先

〒700 岡山市津島中3丁目1-1

岡山大学教育学部長 松畑 熙一 宛

封筒に「気象学教官応募書類」と朱書きし、必ず書留郵便で送ること

9. 問い合わせ先

〒700 岡山市津島中3丁目1-1

岡山大学教育学部理科教育講座 上島 孝久教授

TEL 086-251-7635

FAX 086-255-7244（上島教授宛明記）

10. その他

面接を行うことがあります。

応募書類は返却しません。

トヨタ財団1996年度研究助成公募

基本テーマ

「多元価値社会の構造」

- 1 多様な文化の相互理解と共存
- 2 新しい社会システムの提案
- 3 これからの地球環境と人間生存の可能性
- 4 市民社会時代の科学・技術

1) 助成の概要

下記のとおり。

研究種目	研究助成A (個人研究対象)	研究助成B (共同研究対象)
研究の性格	若手研究者による自由で 独創的な個人研究	共同研究。特に国際共同 研究を重視
1件の助成	概ね100～200万円/件	概ね400～500万円/件、 2,000万円/2年間を上限
助成予定総額	約3,500万円	約1億3,500万円
助成期間	1996.11.1から 1年間	1996.11.1から 1年間または2年間

2) 応募期間

本年4月1日から5月31日(当日消印有効)

3) 申請用紙の申し込み

申請書は日本語、英語とも送料分の切手(1部270円、
2～3部390円)を同封の上5月17日までに研究助成係
宛にお申し込み下さい。

4) 申請用紙の申し込み先

〒163-04 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
新宿三井ビル37階私書箱236号
財団法人 トヨタ財団 研究助成係
TEL 03-3344-1701



第6回酸性雨問題研究会シンポジウム

シンポジウム

酸性沈着の測定と精度

主催：日本化学会・酸性雨問題研究会

日時：1996年6月13日(木)13時～17時

会場：日本化学会化学会館ホール

TEL 03-3292-6163

千代田区神田駿河台1-5

JR お茶の水駅西口下車徒歩5分

プログラム

1. 捕集地点の代表性
電力中央研究所 藤田慎一
2. 湿性沈着の測定と精度
演者交渉中
3. 乾性沈着の測定法
国立環境研究所 福山 力

4. 霧と樹幹流の測定法

神奈川大学 大河内 博

5. 化学成分の測定と精度

国立環境研究所 西川雅高

6. 簡易法による pH の測定と精度

府中市環境保全課 戸梶恵子

参加費：無料、ただし資料代500円

参加申し込み方法：ハガキ又は FAX で申し込んで下
さい。

参加申し込み〆切：6月6日(金)

申込・問い合わせ先

〒223 横浜市港北区日吉3-14-1

慶応義塾大学理工学部応用化学科 田中 茂

TEL 045-563-1141内線3458

FAX 045-562-7625